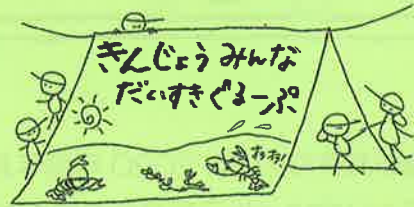


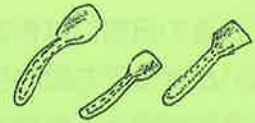
=DAYキャンプ=

9月18日・19日の2日間をかけて、年長児のDAYキャンプが無事に終わりました。たくさんの方に支えられました。また祈りの中で過ごすことのできた2日間に感謝です。

さて、この2日間何をして、どんなふうにご過ごしたのか興味ありますよね。まず、このキャンプは年長児が、“生活を自分で組み立てる”ということが目的になっています。ですので、幼稚園で過ごす長い時間、何をしたいか、そして何が必要かを子ども達と考え、意見や思いを聞きました。そこで決まったのが、“肝だめし”と“ファイヤー”“縄跳び”“リズム”です。しかし遊びのことばかりではなく、生活に必要な衣食住についても日頃のことを思い出しながら、考えました。園庭に立っているテントもその一つです。キャンプ当日はテントでお弁当をいただきました。またそのお弁当箱をはじめ、キャンプの間は食事道具を自分で洗うこともしました。そういえば、「家でも自分の洗ってるよ」「私は運ぶだけ」こんなお喋りも聞こえてきました。また家でも機会があるといいですね。



食事道具といえば、今回は白石先生に教えてもらい、アルミの板をかなづちで叩いてスプーンを作りました。一つひとつ形の違う味のあるスプーンが出来上がっています。このスプーンでカレーを食べた事を迎えにきた保護者の方に「変なスプーンでカレー食べたら、美味しくって美味しくってお代わりしちゃった」と話している子もいました。



キャンプ1日目の夕方には、リズム&ゲーム大会を行いました。

「いつもはどうしてるの?」と保育者から聞かれると丁寧に教えていたり、「見て、見て!」とできるようになった事を誇らしげに披露したり、繰り返し楽しんできたリズムをクラスの先生に見てもらおうとはりきる年長さんがとても可愛かったです。そんな中、2人の保育者も側転に挑戦!「うまくできないから〜」と躊躇する子ども達にとっても大きな刺激になりました。更に「みんなが見ると恥ずかしいからできない、でもやりたい」そんな気持ちを打ち明けてくれた子もいました。それを聞いた年長さんたちは、みんな手で目を隠しスタンバイ。その姿を確認し、リズムをすることができました。その姿に年長さん達からは大きな拍手がおこりました。(あれ?目隠ししてたはずなのに…年長さん、みんな優しい〜)と思った瞬間です。



キャンプ2日目は、大学の薬草園まで、縄跳びを持って出かけました。

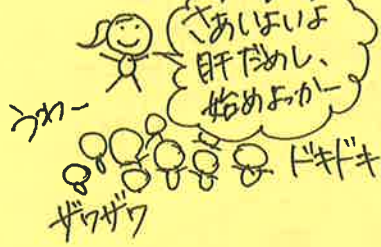
舗装された道で走り跳びに挑戦したり、大縄の入り込みや大縄の中で前回し跳びをしてみたり、今までとは少し違う環境で縄跳びを楽しみました。また真っ直ぐに伸びた道を使って直線でのかけっこをする子も多くいました。保育者やボランティアのお兄さん達に果敢に挑む子ども達、かっこよかったですよ♥



今、明日かになる「肝だめし」の全て



夕やみ迫る 午後6時すぎ...



マナの戸が突然あいて

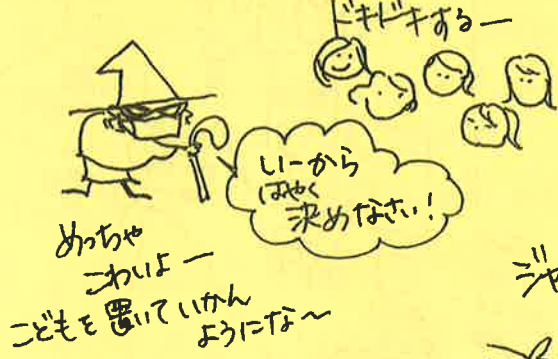


こどもたちは魔女のおばあさんからあるミッションを与られました。

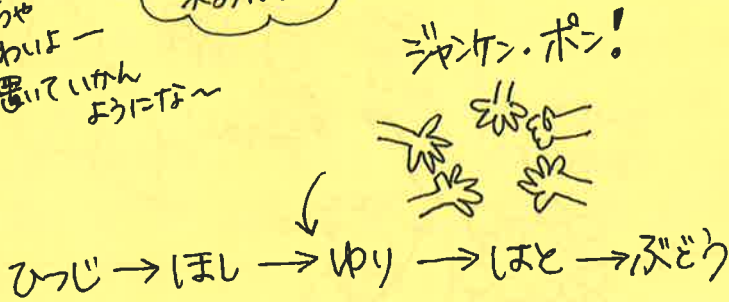
このきどめしはみんなで「ちから」をあわせねばならん。たいていともだちや。たいていせんせいを おいてきてはいかんぜ! みんなで「こころ」をひとつにして とおりぬけトンネルのさいごに おたからをもらって かんてくるのじや。いいな!

わ、わかった...

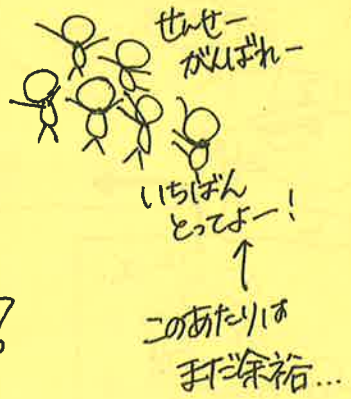
出発する順番は担任スタッフのジャンケンで決めました。



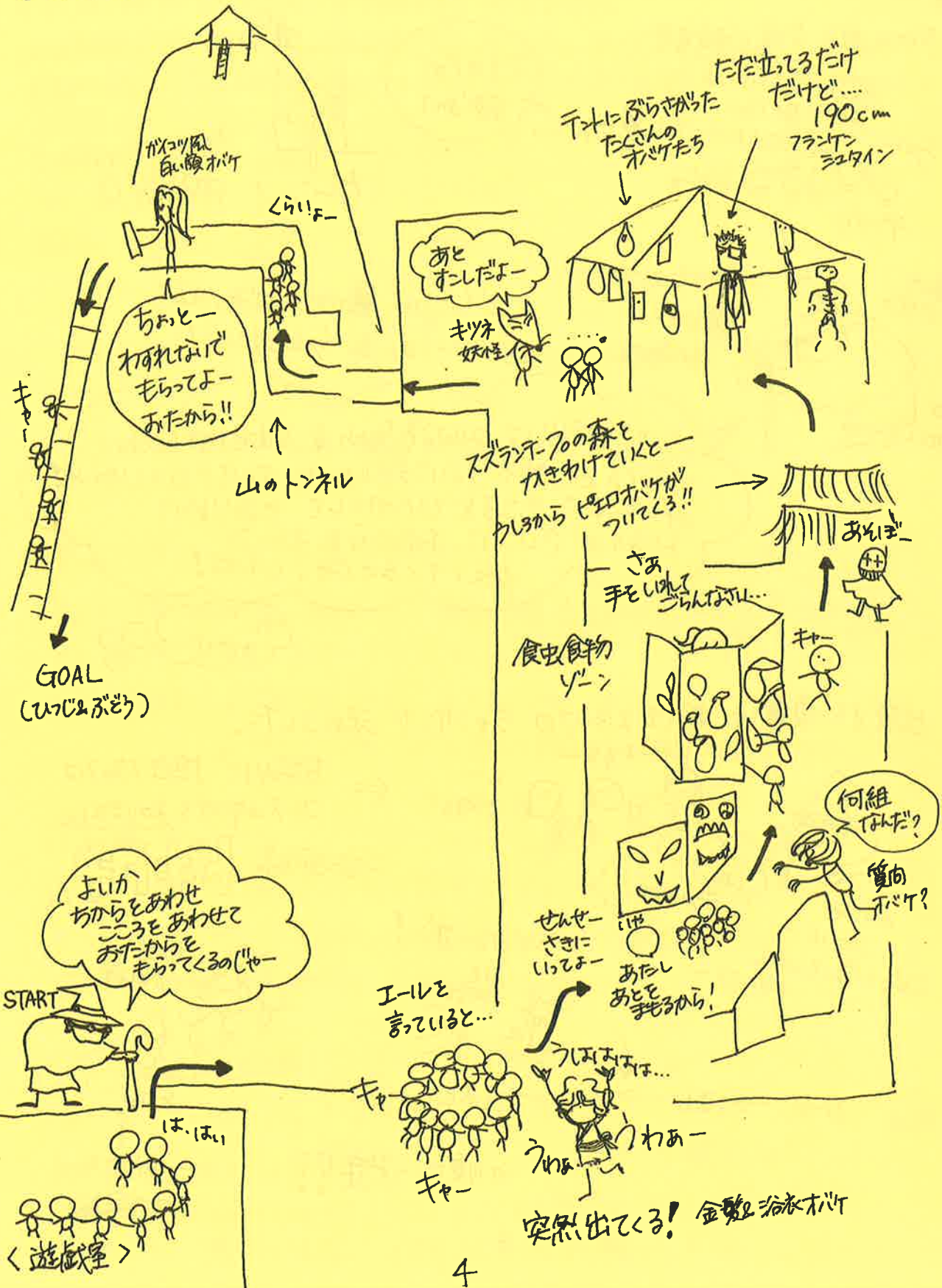
← ちなみに担任スタッフはコースの中味を 知りません どの順番も **ドキドキ**



の順番で 決定!!



<きもだめしコース紹介!>



ひっじ

メールを言い終わった
とこで
おばけが
おどろかしたとこから

キヤー
キヤー
キヤー
キヤー
おっと
叫んで
おるのあ...

キヤー
キヤー
あつと
おたから
忘れておるよ...

先にはびー はんじゃ!
いや! せんせー
前のええー

おたからをもらうのも
忘れ、おばけに呼び
もどされてました...

会場になることから
自分たちも何日も前から
おバケを作って 準備
スランションが 何重にか つられている
小部屋を通るとき...

通るだけだから
大丈夫!
あそびー
わ、わかった...
かみはさる...
うしろからピエロの
おばけに
追いかける...

食虫植物ゾーン

ほし

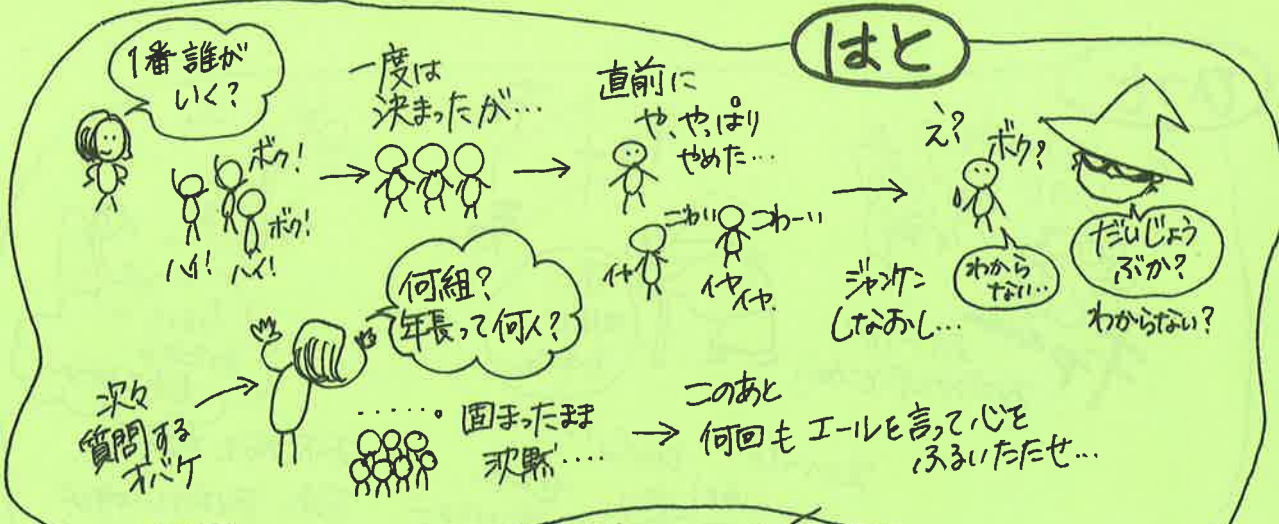
おバケ
ケイガイ押す...
こわれる!
さいごに
もういいです...
目を
みさぐ
丁寧に
おねがひ
しました。

ゆり

最初のひっじの叫び声がすごく
その次のほしが 静かだったので「声が出ないほしに かわいのか?!」と
すくすく 二わく二わくしたゆりぐみ...

はいていくと
おあ!
泣いてる
おうぎすけい
おれん
やめてー
男子も大泣きの
ゆりぐみ
この間の
細かい所は
たぶん
見てないかも。
さいごに
あと
トンネルだよ
なぜか
おれ...
はい、
わかりました
ありがたく
ごさげしました
女性に
丁寧語に
なる人

はと



ぶどう

そして..... みんなが **チカラ** をあわせて もらってきた おたからは たんたろ **チカラ** 巻き物。広げてみると 字がかいてあります。ところが! 全クラス帰ってきて そのうち枚の巻き物を集め、あわせてみると

ゆうぎあるわんちようさん みんなとろて
 ゴールおめでとう さあつぎは うんどうかい
 ちからを あわせ がんばれば
 ようちんのおはけより

というお宝けからのメッセージが 浮かびあがったのです。

5歳児とは... 友だちとやりとげたことが「自信」と「誇り」になる時期

これは 7月の年長児懇談会でも お話させていたことですが、
 「友だちと 協同する力を 育みたい」という願いを持って保育してきた私達は
 こども達の「肝だめしをしたい」という思いに 保育のねらいと重ね、準備して
 きました。

「ちよと怖くても 友だちがいたら大丈夫！」
 「友だちと一緒になら がんばれる！」



「怖がっている友だち(先生?)も一緒に行くには どうしたらいいの？」

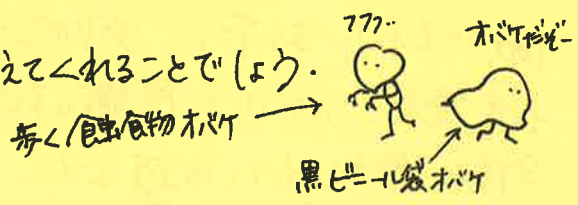
今回の「肝だめし」が「友だちとやりとげたことが 自信と誇りになる」体験に
 つなげたい、その自信と誇りを 次の取り組みにつなげてほしい、
 これが この5枚の巻き物が あわせて 初めて浮かびあがるメッセージに
 つなげた 私達の願いでした。

行事は「その日」だけのものではないー流れを大切に

実は何日も前から自分たちでも オバケを作っていた こども達。
 肝だめしの翌日、キャンプ2日目には、大泣きしていた子も「今度は 自分が 驚かす
 方になりたい!」と 熱心に 新作オバケを作っていました。
 また「ちよときて」と残っている仕掛けに 保育者と 呼んで 驚かしたり、自分が
 オバケに 変身したりと 肝だめしゴッコが 大流行。
 こうして 怖かった経験も 遊びの中で 消化し 表現しながら 力に変えていくのであね。

このように 行事が その日だけのイベントで 終わるのではなく、その日に おかすまでの
 過程を大切に、また 当日以降、遊びの中に 肌々と 続いていくこと。
 こういった「流れ」が とても 大事だと 考えています。
 こども達は 自分の「体験」を 遊びの中で 再現し 再構築しながら、しっかりと
 「経験」として 積み重ねていくのです。


これを 今度は 年中さん、年少さんに 伝えてくれることでしよう。



< キャンプファイアー & 花火の巻 >

キャンプファイアーに先立ち、夕拝の時間をもちました。


山田謙先生よりヨハネによる福音書8章2節「わたしは世の光である」についての
お話を伺い、どんな時にも 私たちを照らし導いて下さるイエス様に心で感謝いたしました。

その後にはいよいよ  キャンプファイアー!
でもトーチの火も小さくなり困っていると
なんと



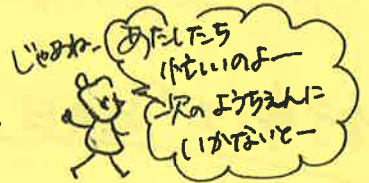
火の女王




と
そのけらいが登場!



なんと秘密のトーチを  に投げ入れ、謎の呪文
「ルース! エクスペクト・パトローナム!」をとばえると

あっという間に炎があがったのでした!

火の女王様、けらいさん、ありがとう、一緒に踊りました。
でも「忙しい」为由ですぐに行ってしまった。



こどもたちと  ロックマイソウル  アチャバチャ / チャ
 キャンプだ木 たいを歌って踊って汗ダクになりました。

花火大会ではなんと  パフリカ  が登場!

ダンスにあわせて後ろで次々に花火に火がつけられる—という演出。
長ーいタイガウにみせれ、10連続以上の迫力ある
打ちあげ花火に大喜びのこどもたちでした。



きゅい!
わあー

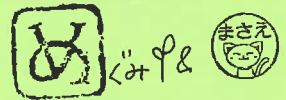

今回もこれらの企画にボランティアの卒園生の方々が
協力して下さいました。ありがとうございます。

長年続く「つながり」に感謝するとともに、このような関わりが
今後も継承されていき可ように。又、しほほも関わりたい、と思える園で
ありました。思っています。どうぞよろしくお願ひします。 -8-

DAYキャンプ後、肝だめしで「もう年長イヤだ〜！」と叫んだ子が「今度は私たちが先生達を脅かす肝だめしがしたい」と話したと聞きました。年長DAYキャンプは終わりましたが、子ども達の中では、まだまだ続いているようです。

例年とは違う形のキャンプに今まで持っていたイメージから想像できない！という方も多かったと思います。また「コロナだからできないよね」「残念」「かわいそう」そんな言葉も実際、聞こえてきました。しかし子ども達は、そんなこと全く思っていないし、考えてもいません。子ども達は、“できることは何かな？”“やってみたいことができるかな”そんなふうを考えて過ごしています。子ども達から学ぶことが多いです。

今できる事を大切にしながら生きている子ども達には、育つ力が充分にあると確信しています。これからもそんな年長さんと残り半年の幼稚園生活を満喫していきたいです。



おまけ

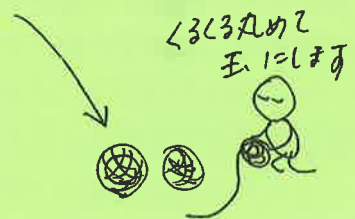
みんなとも やってます！ - ウェビンの糸を自分たちで染めてます！



ウェビンの糸を染めるためにピラの糸を利用して糸を作っています。



いろいろな色に染めます



くま丸めて玉にします